

東武鉄道(株) 東武浅草駅



所在地：東京都台東区花川戸一丁目4
 路線：東武鉄道伊勢崎線（東武スカイツリーライン）
 ホーム：3面4線
 施工：東武電設工業㈱
 照明更新完成：平成24年3月

S187

東武浅草駅の駅ビルは、2階の鉄道施設とともに耐震補強を含めてリニューアル工事が完成しました。
 駅ホームの照明は蛍光灯器具からLED照明器具に更新され、
 安心・安全な明るさを確保しながら大幅な省エネが図られています。

2階鉄道施設も含めて東武線駅ビルが リニューアルオープン

昭和6年に関東で初となる地下1階、地上7階建の本格的な百貨店併設のターミナルビルとして完成。同時に、東武鉄道の駅がその2階に浅草雷門駅として開業し、現在の東武浅草駅は昭和20年に改称されたものです。

東武浅草駅ビルは、東京スカイツリー®の開業とともに、東武スカイツリーラインの玄関口にふさわしい駅として、鉄道施設も含め平成24年5月にリニューアルオープンしました。日光・鬼怒川・会津など日本の豊かな四季の風光明媚を求め毎日多くのお客さまにご利用頂いております。

駅ホーム面側に傾斜した断面形状の LEDホーム灯器具に更新し、 歩行側を効率よく照射

東武浅草駅は、3面4線構造のプラットホームで、既存のホーム照明は110W蛍光灯2灯用器具（消費電力225W）が使用されていました。

照明更新では、独自の高密度実装形モジュール（COB）を用いた高効率（101.5lm/W）・高拡散照明で均質に発光する直管形LEDホーム灯器具を採用。

レール沿いに連続的に配列したLEDホーム灯器具（消費電力132W）は、細長い線路面に無駄な光を広げないようにホーム面側に傾斜した断面形状とし、歩行側を効率よく照明しています。これにより、列車に最も接近する乗降時の危険を緩和する安全な明るさ（平均照度600lx）を確保しながら蛍光灯器具と比べ省エネ率41%を可能にしています。

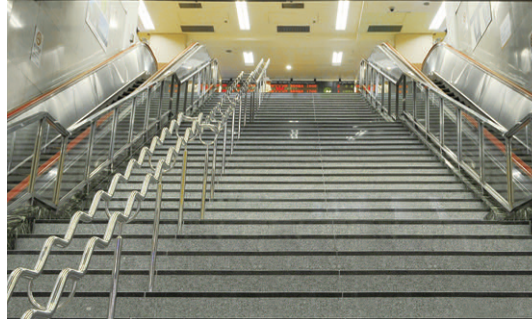
また、ホームをつなぐコンコースや改札口、階段においてもHf蛍光灯器具（消費電力89W）から同等の明るさを平均消費電力63Wで実現する高出力タイプの一体形LEDベースライト薄形タイプに更新。薄形LED器具による天井面のすっきり感と天井面を照らす側面光で明るさ感を高めつつ、消費電力約30%を削減しています。



駅ホームの照明 110W蛍光灯2灯用器具から直管形LEDホーム灯器具に更新。
 線路面に無駄な光が広がらないようにホーム面側に傾斜した断面形状の特注を採用



案内コーナー周辺のLEDライトエンジンダウンライト



中央階段の照明はHf蛍光灯器具から一体形LEDベースライト薄形タイプに更新



北口周辺の一体形LEDベースライト薄形タイプ

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数
駅ホーム・ コンコース・階段	LEDホーム灯器具（15°傾斜タイプ）	特注	395
	LEDホーム灯器具（傾斜なしタイプ）		76
	一体形LEDベースライト薄形タイプ	LEDT-48101W-LDJ	22
		LEDT-63101W-LDJ	49
		LEDT-32007W-LDJ	46
		LEDライトエンジンダウンライト	LEDD-16002-LD9
	LEDダウンライト	LEDD-60001MW-LD9	8